

W 町民のみなさんと議会をつなぐ

ぴっぷ議会だより



議会とまちづくり “思いを語る”



「議会と話そう」

町民と議会との意見交換
「議会と話そう」

No.121

令和7年1月
臨時号

報告

町民と議会との意見交換会

議会と話そう

昨年に引き続き、意見交換会「議会と話そう」を開催し、参加された皆さんから地域の課題や行政に対する要望をいただきました。

いただいた意見や要望を今後の議会運営に生かすとともに町政に反映させる取り組みを行っています。



2024.10.23 南分館 町民9名・議員9名参加

- ～ テーマ ～
- ・ 議員に聞きたいこと
 - ・ スキーといちごの町について
 - ・ 公共施設の今後について
 - ・ 医療・介護・福祉について
 - ・ 良佳村エリアについて



2024.11.6 図書館視聴覚室 町民10名・議員8名参加



1班
遠藤 弘子、谷口 雅浩
澁谷 興二、八巻 良博

町民の方4名、議員4名で話し合いがスタートしました。

まず、道北バスのコース変更が話題となり、全ての方が冬の駅前通りの除雪体制への不安を口にしておられました。駅前通りは道道のため、町長や建設課が上川総合振興局と頻りに折衝

していますが、今冬の状況がどうなるか不安が残りました。

また、「セブンイレブン前の横断歩道が少ない」「保育所が2ヶ所は多すぎるのではないか」「川端市場が無くなるので買い物が不便になる」「庁舎は新しくなって耐震強度は増すが、老人や子どもたちを被災からどう守るのか」「比布のいちごのイメージといちご農家の現状」「協力隊の皆さんをどのようにバックアップして、将来にわたって比布で活躍していただくか」「びびたくの運行範囲が広がったが、もっと広がらないのか。また、台数が足りなくなるのでは」等々、様々な意見が出され、私たち議員の実行力が求められていることを痛感いたしました。

ご意見をいただいた皆様に心から感謝いたします。

(八巻)



2班
大熊 勝幸、植西 浩一
佐藤 良彦

2024年の「議会と話そう」は、昨年と一昨年に引き続き3回目の開催となりました。お集まりいただいた参加者の皆さまには感謝申し上げます。

予想を上回る多くの方々に参加いただき、貴重なご意見を拝聴する機会となりました。

意見交換会の中では、協力隊や働き手の問題、除雪・排雪、新庁舎など多岐に渡った話や提案をお聞かせ下さいました。

特に、切実な問題として比布町の人口減少や高齢化率上昇の影響で、働き手不足が深刻な状況にあることを危惧されての発言が多かった印象を受けています。

実際に、比布町人口ビジョン改訂版でも高齢者数のピークや高齢化率は他市町より前倒しで迎えている状況にあります。

町民の皆さんが抱えている不安や問題は昨年も聞いた内容と合致しているところが多く、改善されていないことに責任を痛感しています。

少しでも前に進めれば、町民の期待値は高まり、来年の「議会と話そう」参加者が増えると考えています。

(佐藤(良))



1班
谷口 雅浩、澁谷 興二
八巻 良博

①議員に聞きたいことでは、「中央学校前8号道路両側を児童生徒の安全確保のため、歩道を設置してほしい」「バス路線が変更になったので駅前通りの排雪を増やして」との要望がありました。

また、「町をPRする目的は何か」との問いには、比布町を知っていただくことにより、関係人口、交流人口を増やして、最終的には移住につなげたいとお答えしました。

②スキーといちごの町については、「いちご狩り農園が減少して寂しい」「リフト料金が安いし豊富なコースをもっとPRしては」「気象条件によっては山頂から雲海が見れる」、③公共施設の今後については、「停電対策のため再生可能エネルギーの利用はどうですか」、④医療・介護・福祉については、「健康に対するアドバイスがほしい」「安心して住める町にしてほしい」、⑤良佳村エリアについては、「忙しく過ごす日常から一時的に離れ、心身をリフレッシュできる場所に」というご意見をいただきました。

皆様のご協力ありがとうございました。

(谷口)



2班
大熊 勝幸、植西 浩一
佐藤 良彦

3回目の開催となったこの催しは、事前申し込みの数が少なく、当日まで心配でした。

しかし、開場してすぐに想定よりもかなり多くの方が集まり、様々な思いが熱を帯びてきたことにホッとしました。

身近な話題から、町の未来まで語られる言葉は、多岐にわたる素晴らしい視点でした。

どんな小さな視点であっても、そこに問題が込められている。議会はその視点に焦点を合わせ議論ができるだろうか？少しうろたえたものの、すぐに執行者にこの思いをどのように伝えるべきか考えることにしました。

雑談の中で、今までの基準に合わなくなったところを現状に合わせ変えていくのも議員の役割であることを説明させていただきました。

人口減少、高齢化の進行、公共施設の老朽化…どれも今まで解決してきた諸問題とは別の視点で取り組まなくてはならないことを改めて考えさせられました。感謝。

(植西)

参加者の声

「議会と話そう」に参加された方にインタビューを行い、感想やご意見をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。



「議会と話そう」の新参加者として、議員の皆さん、参加者の皆さんとお話しし、比布町について学ぶことができました。

2024年は比布町130年の年であり、4月には第13次まちづくり計画もスタートし関連事業が行われています。140年、150年…これからの比布町をどうしていくか、町全体で考えないといけないと感じています。

平井 達朗さん(東町)



地域おこし協力隊としての活動も終盤に入り、比布町議会議員の方々と「住みやすいまちづくり」をテーマに意見交換を行い、貴重な学びを得ました。町民さんの声を活かし、議会や役場と協力しながら、より良い町づくりを目指していきます。

今後も皆さんと共に成長し、町の発展に貢献したいと考えています。

地域おこし協力隊 藤本 隆靖さん(新町)



私の班は「スキーといちごの町について」から話が始まり、町がどうなれば人が集まり、知ってもらえるのかという話題を中心に意見交換をさせていただきました。気軽に話せる雰囲気であつという間に時間が過ぎました。

人が集まり、住み続けたい町づくりについて、もっと多くの町内外の方に参加いただき、意見交換ができればと思いました。

齋藤 仁志さん(南町)

■ 感想は？

すごく良かった 9人
良かった 5人
普通 2人

■ 意見交換会の時間は？

長かった 1人
ちょうど良かった 13人
短かった 2人

■ 発言は十分にできましたか？

できた 14人
できなかった 2人

■ 次回も参加したいですか？

また参加したい 10人
わからない 5人
参加したくない 0人
未回答 1人

アンケートでいただいた貴重なご意見を今後の議会運営の参考とするよう、議会内で協議を進めます。
ありがとうございます。



参加者アンケートからのご意見（回答 16人）

議会ホームページに一般質問のテーマは出されているが、その後の質問内容も取り上げてほしい。

意見をしっかり聞いていただきましたので、しっかり問題提起ができました。

もっと議員個人の意見、考え方を知りたい。

席上で出た意見、質問、要望をリストにして全項目について進捗や結論を報告するよう徹底してほしい。そうでないと出席する意味がない。

初めて参加させていただき、町民が考えていること、議員の皆さんが考えていることを聞くことができ、有意義な時間でした。次回も参加したいと思います。

1つでも形にしてください！

それと、提案があった項目は必ず議会で議論をして、進めるのかやらないのか決めて報告してほしい。

町民の方々の様々な意見、議員さんの考え方など、学びの多い時間でした。
比布のために皆さんが意見を戦わせる時間はとても重要だと思います。
また学ばせてください。

一般質問の際にもう少し比布町内の独自の質問をしてほしい。
比布町内の安心・安全、特に災害・防災に行政と共に力を入れてほしい。

大変良かったと思う。
様々な課題をしっかりと話し合えた。

今回は議員さんのやりたいこと、考えを伺えた。
とても有意義であったと思います。

お礼のごあいさつ

『議会と話そう』は今年で3年目6度の開催となりました。

今回も南地区・市街地区の皆様方には大変貴重なご意見を拝聴する機会となりました。

『議会の役割や行政運営』をより身近に『世代を超え町づくりを語る場』として議員一同、さらに創意を重ねて参ります。

今回で計6度の開催となりました。私共も回を重ねて進行にも慣れて、参加者と深い議論が交わされるようになったと考えます。

町の活性こそが議会改革の核心です。

ご参加・ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

次回の参加を

お待ちしております！



議長 佐藤 康則



議会改革特別委員長
副議長 今井 明信

